

すべての子どもが学びやすい開隆堂の教科書づくり

東京家政大学教授 半澤嘉博



通常の学級には、障害などにより学習面で個別の配慮が必要な子どもも在籍しています。新しい学習指導要領でも、教科指導における個別の支援の具体例を示しているところです。

開隆堂の教科書は、子どもの認知特性の違いや特別支援教育の観点などから、だれもが理解しやすいような配慮や工夫が随所になされています。例えば、実技を伴う図画工作科では、QRコードですぐに動画を見ることができるようになっています。また、文章表記において、できるだけ単語や文節が途中で改行されないようにして、一目読みしやすいように配慮しています。

さらに、教科書に合わせて発行される教師用指導書には、教師が行う個別配慮の観点や実際のヒントも数多く掲載されていますので、ご活用ください。

開隆堂の小学校図画工作科教科書の特色

- ①文字について、文字の読みやすさを考えた UD フォントを使用しています。
- ②単語や文節が行をまたがないように改行位置を工夫して、文章や語彙の意味が、一目で理解できるようにしています。特に、子どもが音読する際の読みやすさや理解やすさが決定的に違ってきます。

わたしたちのまわりには
さまざまな光があふれている。
友だちと協力して光り方を試したり
組み合わせたりして、光の美しさを
生かしたかざりをつくろう。

③色覚に困難さのある子ども（約5%）にも識別しやすいように、できるだけ背景に色を重ねないようにするなど、色の使い方について配慮しています。

④図表の認識性を高めるために、カラーユニバーサルデザインの基準に基づいた配色の配慮をしています。特に、暖色と寒色の対比に留意し、図表の違いに気づきやすく配慮しています。

⑤実技を伴う教科では、教科書を読んだだけでは、実際にどのような活動や動作を行えばよいのかが分かりにくいことがあります。図画工作科の教科書では、教科書に掲載されたQRコードをコンピュータで読み取ると、すぐに動画を見ることができるようになっています。



図画工作 3・4 上 できたらいいな p.21 QRコードおよび動画画面

⑥外国籍の子どもへの配慮として、教師用指導書に各単元の内容説明を7か国語に翻訳した文章を掲載しています。